は4件、 年度は2月末で48件であ 【答弁】平成19 20年度は1件、 22年度は5件。 年度は2 21 年度 23

数をたずねる。

に対し処分が行なわれてい

過去5年間の差押え件

## 10倍近くに

ため滞納者は増え続けてい 【質問】高すぎる国保料 徴収強化として滞納者

### ■差押え件数と内訳

平成	不動産	預金	生命 保険	市税 還付金	給料	合計
17年度	0	0	0	0	0	0
18年度	0	0	0	0	0	0
19年度	0	0	2	0	0	2
20年度	1	0	0	0	0	1
21年度	4	0	0	0	0	4
22年度	1	4	0	0	0	5
23年度	8	34	4	1	1	48

優先である。国保料の回収 しかも、 の自宅差押えを行なった。 せざる負えなくなった世帯 解雇にあい、 自宅の債権は銀行 国保料を滞納

差押え件数は昨年比

用した滞納処分の停止を求めました。 行しています。 ことから、中上議員は、 の徴収を強化し、 交野市は財政健全化の 差押えは生活困窮者にも及んでいる 預金・不動産などの差押えを強 国保徴収法の緩和措置を適 国保料滞納者

> 悪質でない限り **差押えは停止を**

中上さち子議員が要望

い 方、 分の対象となる状況は、 【答弁】納付相談に応じな 【質問】滞納者で差押え処 また、払える収入や

収入低迷はみられるが不動 財産があるにも関らず小額 産を所有している方などを しか分納していない方や、 ならば、 考えるが。 きではないか。 が決められているが守るべ 含めた対応を行なうべきと 納者が生活困窮状態である 和措置として国保徴収法で 「滞納処分の停止」(※ 今後の生活再建を 同時に、

指摘の窓口対応にあたるよ 行なったが、今後は、 【答弁】生活保護の案内は 納付指導を行なってい 議員

市は、

困窮生活が続く中で

きたい。

対象とすべきである。

だが

わない悪質な滞納者のみを

【質問】資力があるのに払

対象としている。

滞納処分の停止」にあた 『国保徴収法153条

る要件

【質問】滞納者に対する緩 産党提案の意見 賛成多数

大阪府が子ども医療費助成の年齢を引き上げることを求める意見書

子どもの医療費助成制度は、子育て世代の負担を軽減し、子育て支援をすすめるうえ で重要な施策となっています。

現在大阪府は、通院は2歳までの助成であり、都道府県の中で最低水準となっていま す。入院は就学前までの助成であり、中学校卒業まで実施している都県と比べて遅れた 水準となっています。

大阪市は、平成 24 年度から、通院を就学前から中学校卒業まで助成を引き上げるこ とを表明しました。入院は、現行の小学校卒業までの助成となっています。

交野市は、通院は就学前までの助成であり、入院は平成 24 年度より小学校卒業まで 助成を引き上げる予定となっています。

交野市に於いても、一刻も早く、中学校卒業までの助成の実現が求められています。 そのためにも、大阪府の助成制度の年齢引き上げがおこなわれれば、交野市の独自助 成を上乗せすれば、中学校卒業までの助成への道が開かれてきます。

大阪市が助成年齢の引き上げを行ったことを受け、府内の市町村の格差をなくすため にも、大阪府としての助成年齢の引き上げが急務となっています。

よって、下記事項を大阪府に求めます。

一、大阪府は、子どもの医療費助成年齢を、通院・入院とも小学校卒業まで引き上げる こと。

### 3月議会 一般質問

# はすべ

2012年5月20日 1552 NO. 【発行】

日本共産党 市会議員団

ご相談は市役所 議員団控室へ

私部 1-1-1 **2892-0121** (内線 301)



中 上 さち子 倉治 6-17-13 **2893-6785** 



さかの 光 雄 私部 1-38-23 **2893-1083** 



さらがい ふみ 星田 7-44-21 **2835** 

文援こそ必要

不動産を差押えた。 もらえていない状況にあっ 生活再建にむけた 生活維持に支障がない 給与振込を把握したの

> 税金回収に繋がらない場 1 いとき」、滞納処分をしても 滞 納処分する財産がな

すべきである。

【答弁】納付交渉に応じて

に繋がらない差押えは停止

分の執行により生活保護法 る恐れがあるとき」、滞納処 の適用状態となる場合 「生活を著しく窮迫させ